

平成 22 年度 予算要求事業調査

1 予算要求事業の概要

事業名(予算の事務事業名)					区分		
10	元気商店街 絆コミュニティ形成支援事業(商店街振興事業)				新規	拡大	継続
会計区分	款	項	目	所管			
一般会計	7	1	2	経済局 経済部 商工振興課			
事務事業の位置付け							
しあわせ倍增プラン2009	番号		事業名				
総合振興計画新実施計画	事業コード		事業名				
根拠法令等		さいたま市産業振興ビジョン					
予算要求事業の概要							
内容	商店街が求められている地域コミュニティの担い手の役割を果たすために、商店街のキーマンとなる人材の育成を支援するとともに、少子・高齢化、環境、防犯などの地域課題に対応できる「元気商店街」の形成を行います。						
目的・目標	<p>&lt;目的&gt; コミュニティ機能を発揮する「元気商店街」の増加を目指し、商店街の活性化につなげてまいります。</p> <p>&lt;目標(平成25年度末)&gt; 1 元気商店街数 4 商店街</p>						
現状と課題	<p>&lt;現状(平成21年度末見込み)&gt; 商店街が実施する歳末売り出しなどの販売促進や街路装飾などのソフト事業に対し支援するほか、商店街街路灯の新設、改修等のハード事業に対して支援しております。</p> <p>&lt;課題&gt; 商店街ならではの「地域コミュニティの担い手」となる機能を発揮するため、商店街のキーマンとなる人材の育成支援を行うとともに、商店街が社会的課題や地域課題の解決に取組みやすくするための新たな支援事業を展開する必要があります。</p>						
今後のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度 「元気商店街」のモデルを例示したハンドブックを作成し、商店街に周知 先進的な取組を行っている商店街のリーダーによる講演会などの開催</li> <li>平成23年度 モデル事業に取り組む商店街を公募し、意欲のある商店街を選定 モデル商店街に専門家を派遣し、計画から事業化まで指導・助言による勉強会を行い商店街の活性化計画の策定を支援</li> <li>平成24年度 地域コミュニティの担い手となる商店街のキーマンの育成を支援し、商店街による事業の継続性を確立 事業化に必要な支援を行い、他の商店街のモデルとなる「元気商店街」を形成 コミュニティ機能を発揮する元気商店街の増加を図り、商店街の活性化につなげる。</li> </ul>						

2 予算要求の内容と査定結果

(単位：千円)

区分	金額	備考
平成21年度	当初予算	0 <積算内訳>
	財源内訳	
平成22年度	当初予算要求	3,000 <積算内訳> 1 元気商店街 絆コミュニティ形成事業業務委託料 3,000 [主な内容] (1)ハンドブックの作成 (2)講演会・研修会の実施
	財源内訳 一般財源	3,000 <要求理由> 「元気商店街」を例示(その実現に向けた事業手法、支援など)したハンドブックの作成や、先進的な取組みを行っている商店街のリーダーによる講演会などを開催し、商店街に対し当事業への取り組みを推進するために必要な経費を要求するものです。
	財政局長査定	0 <査定内容> 1 元気商店街 絆コミュニティ形成事業業務委託料 0 [主な内容] (1)ハンドブックの作成 (2)講演会・研修会の実施
平成22年度	財源内訳	<査定理由> 既存の商店街支援事業の実施によって対応可能な内容であるため予算化を見送りました。
	市長査定	0 <査定内容> 同上
	財源内訳	<査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。